

城北



平成 28 年 5 月 1 日現在

総世帯数	3,516
総人口	7,676
男	3,664
女	4,012

城北公民館

館長 田中正



城北地区

一五(15町会)の輪

爽やかな風と新緑の美しい季節となりました。

この 4 月から深澤館長の退任にともない後任の地区公民館長に就任しました。新人の 1 年生ですが、地域の方々、町会長・町内公民館長・関係機関等の皆様のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。与えられた職務を精いっぱい務めさせていただきますと存じます。

城北公民館は市内の地区公民館の中でも有数の地域活動を展開しており、生涯学習・

地域づくりの拠点として活用されております。これも一重に地域の皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。この公民館活動の伝統を引き継ぎ、少しでも城北地区発展の一助になればと考えております。

先の熊本地震では、甚大な被害が発生し、いまだ余震の影響を受けております。地震の早期の収束と早期の復興を心よりご祈念申し上げます。ところであります。

このような状況下、地区公民館は防災・災害対応の拠点としての機能ばかりでなく、少子高齢化に代表される地域課題に対し、地域一丸となつて取り組みできる公民館事業を実施・展開してまいります。地域の皆様が明るく、安全に安心して暮らせるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



城北地区町会連合会
会長 太田 宗彦



就任にあたって

このたび城北地区の連合町会長に就任しました。城北地区では 2 番目に大きい蟻ヶ崎北の町会長も務めています。

私は徳川家康の生誕地である愛知県岡崎市で太平洋戦争が始まる 2 カ月前に誕生しました。その後戦禍を逃れ昭和 20 年 2 月に父の友人を頼って、松本にきました。父は転勤族であつたので各地を回って中学 1 年の時再び松本に戻ってきました。

退職を機に町会に係るようになりましたが、今回連合町会長の指名を受けた時の心境を聞かれると、出てくる言葉は「晴天の霹靂」です。霹靂とは稲妻のことです。晴天の空には雷はあり得ないのです。果たして連合会の長が務まるのか、葛藤する日々

の連続でした。

それでも、この年になってこのようなチャンスを与えてくださいました城北の皆様にご感謝申し上げます。与えられた任を謙虚に受け止め、覚悟を決めました。

今後任期中は住民の皆様方の意見を伺いながら、城北のために知恵を出し、共に手を携え地域の発展のために貢献してまいりたいと考えています。

城北地区町内公民館長会

会長 窪田 隆彦



平成 28 年度の町内公民館長会の会長に微力ながら就任しました。

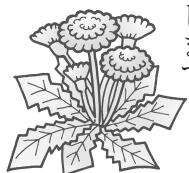
公民館活動は、地域住民の要望に応え、教育・学術・文化などの普及と向上に努めるとされています。かみ砕いて言えば、地域の皆さんの気軽なたまり場、話し合いの場、グループ活動の場など様々な学習の場を作り、こうした機会を通して、親睦と交流がス

ムースに進むように支援するところにあります。

また、お互いに助け合い、支え合いながら安心して、生き生きと暮らせる住みよい町づくりを進めることも大きな目標のひとつです。このため、町会連合会や住みよい町づくり協議会など関係諸団体と連携しながら進めたいと思っています。

現在進行中の熊本地震や数年前の松本地震など、自然災害はいつ起きるか分かりません。それぞれのご家庭にとつて万一の備えが必要なのは勿論ですが、こうした災害時にもっとも力になるのは若い人たちであることを痛感します。

幸い城北公民館の部会には「青年部」が発足しています。町内公民館としては、この「青年部」と協力し若い人たちがいろいろな地域活動に積極的に参加し、地域の現状を知ってもらい、ご協力いただけるようその環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。皆さまの一層のご支援とご協力をお願いいたします。



開智小学校 新しい校長先生に聞く



4月から、開智小学校に教育事務所より、赤羽聡校長先生が赴任して来ました。先生は長野県内の教育事務所や、中学校など多くの学校で国語を教えていました。

開智小に来て感じた事は、「環境が良く、伝統があり文化がある」「笑顔で元気な声であいさつが出来る生徒が多い」と話してくれました。

4月5日の入学式では、13名の新1年生を前に「たくさん勉強をする事」「早起き」「ケガをしない」と3つの話をしました。勉強をするとは、楽しい事や新しい事を見つける力になり、早起きして、ご飯を食べ、交通安全に気をつけて、ケガをしない事が大事と話しました。毎朝校門の前に立ち「おはよう」のあいさつで、子ども達を迎える校長先生は、「怒(いらい)の心」を大切にしています。子ども達も先生も生き生きと輝き、共に学び合い高めゆく学校作りを目標にしています。

ています。また、地域と共にお互い様の心で、信州型コミュニティの充実をめざすと、未来を担う子ども達に10年20年後の社会を見据えて生きる力を身に付けて欲しいと熱い思いを語ってくれました。

元町こーひろば事業 手作りボランティア

手芸が大好きな方たちが月2回、城北福祉ひろばに集まります。

アクリル毛糸でたわしを編んでいる人、刺し子をしている人、ネクタイをほどこいてバッグを作っている人など、それぞれ得意分野の製作に取り組んでいます。

お互いに作り方を教え合ったり情報交換の場にもなっていて、手を動かしながら口も良く動き、とても楽しそうな雰囲気です。

布や毛糸などの材料は寄付されたものでまかないます。この日も代表の中條俊子さん(白金町)が「紺色の布が手に入ったので刺し子の模様を入れて巾着を作ろうと思います。だれかやっていただけの方いますか?」と

呼びかけていました。刺し子とミシンがけが分業になることもよくあるようです。

広場での作業は時間が限られるため、ほとんどは家に持ち帰って作ってくるということで、それぞれが作ってきた作品がたくさん集められました。不要になった傘の布を再利用したチャック式の可愛いポーチは、キャンディを入れてふれあい会食会の招待者のおみやげ用に、目標は65個ということでした。ふれあい祭りでの販売は丁寧な作りと値段が安いことで人気があり、売り上げに貢献しています。「好きな手芸ごとでお役に立て、本当に楽しいです」とメンバーのみなさん。現在17名が登録していて、第2火曜日10時と第4火曜日13時30分の月2回集まっています。



手仕事が好きな方、お気軽に遊びにきてください。
使っていない綿の布やアクリル毛糸などありましたら公民館にお持ちください。

開智小学校入学式



旭町中学校入学式



沢村防災公園

いちごの風 ～ 春の風景 ～

ヤマボウシ



シラネアオイ



イチリンソウ



西町公園



牡丹

▲ 沢村1丁目公園

